

# 愛育ながさき

Ai-iku-Nagasaki 38号

発行所/一般社団法人長崎県手をつなぐ育成会  
発行者/竹内隆伯 発行日/平成30年9月26日  
〒852-8104 長崎市茂里町3-24  
長崎県総合福祉センター県棟4F 408号  
Tel:09-846-8730/Fax:095-846-8738  
E-mail:info@ikuseikai-nagasaki.jp

## 特集：定期総会報告

～育成会のこれから/本人部会～



いきいきと暮らす

～本人部会活動「なかま会」～

第58回北九州大会報告  
知的障害者相談員研修

あなたのそばの輝く人  
き  
輝らっ人

北九州大会へ参加した長崎市育成会のみなさん

# 平成30年度 定期総会



去る6月16日(土)13時より、原爆資料館ホールにおいて長崎県手をつなぐ育成会の平成30年度定期総会が開催されました。

会には160名の方が参加され、審議はとどこおりなく終了しました。

以下、平成30年度に向けて、これまでやってきたいくつかの事業内容の変更があり、そのことについてご紹介をします。

## ①役員研修会

これまで役員だけの役員研修会を開催してきましたが、今後は全会員対象の「育成会フォーラム」という形態で研修会を行います。開催時期については、総会時にやることも視野に入れていきたいと考えています。

## ②就労支援セミナー

これまでの就労支援セミナーについては、企業側の参加が少ないという課題がありました。今年度からは県育成会が中小企業家同友会に加盟し、積極的に障害者の就労をテーマとした研究に参加することで、実質的な障害者雇用に繋がるような企業側との厚い連携を計っていくことになりました。

県下各地の中小企業家同友会が開催する研修会には、育成会は会員として参加することができ、より有効な研修ができるのではないのでしょうか。

## ③累犯障害者支援研修会

以前、トラブルシューター研修会を長崎で開催したことをきっかけに、累犯障害者支援研修会を県育成会が担ってきました。今後は、累犯障害者の支援について専門的に取り組んでいる「ながさき福祉的支援協力事業所協議会」が主催となり、県育成会は共催して協力体制をとっていくことになりました。これからも益々より良い研修内容を追求していきます。

総会の審議の後は、本人会「長崎きずな」の活動を紹介するコーナーがありました。

本人さんたちが舞台上から自分たちの活動を発信していただきましたが、会場の参加者は、うなずいたり、微笑んだりしながら、本人さんたちの素晴らしい発言にしっかり耳を傾けておられました。

長崎県手をつなぐ育成会の様々な活動内容をより分かりやすく提供できる総会のあり方、参加者全員が共に集い研修することの楽しさを感じる総会のあり方など、新しい魅力作りを目指してこれからも頑張りたいと感じた総会となりました。(谷)



本人部会のみなさんの発表に  
会場からは質問や感想が相次ぎました

# 定期総会で活動を発表

## 長崎県本人部会連絡協議会 長崎きずな

今年3月の第4回本人部会「長崎きずな」連絡協議会において、県育成会事務局より「平成30年度の定期総会で何かやりたいことはありませんか」とお尋ねがありました。

もっとたくさんの方に自分たちの活動を知ってもらうために、「長崎きずな」の紹介をしようという意見があがり、各育成会の本人部会の紹介も含めて発表をさせてもらう事になりました。

- みんなで「長崎きずな」についてどんなことを知ってほしいかを話し合ったところ、
- 「きずなは自分の意見を言える場所」「みんなと交流できるのがうれしい」
- 「よその本人部会がどんなことをしているのか情報交換ができる」
- 「大会に代表を送り出している」「自信を持って自分の意見が言えるようになった」
- 「『みんなで知る見るプログラム』という楽しい研修をしている」
- 「行政や社会に向けて自分たちの意見を発信している」

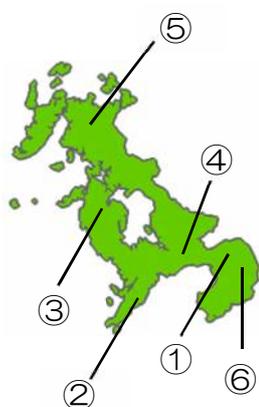
などの意見があがり、「長崎きずな」がみなさんにとって大切な場所になっていることが分かりました。

当日は「長崎きずな」連絡協議会の会長の吉田光一さん(島原市育成会)が進行をしながら「障害があってもいろんな人に出会って夢を持ってほしい」という思いから本人部会が立ちあげられたことや、みんなで話し合った「長崎きずな」の魅力について紹介をされました。

また、今年開催される島原の県大会で発表するための本人決議を話し合っていることや、県の障害福祉課との「障害者施策に関する意見を聴く会」で要望を出していること、「みんなで知る見るプログラム研修会」で、県内の本人会のメンバーと、自分の意見を言ったり人の意見を聴いたりしながら交流している様子など、現在の活動について報告がありました。



各地域の活動をそれぞれ紹介しました



現在、「長崎きずな」は5つの育成会の本人会とNOP 法人ふれあいネットワークピアの5つの支部で構成されており、①「ふれあいネットワークピア」(南高愛隣会)、②「FICS」(長崎市)、③西海市本人会、④「なかま会」(諫早市)、⑤「サン SASEBO」(佐世保市)、⑥「チューリップの会」(島原市)それぞれの本人会の代表が、自分たちの活動の紹介も行いました。

みんなの意見をひとつにまとめるのがたいへんですが、いろんなところに行くチャンスをもたらるのは嬉しいです。



吉田光一会長

(長崎県手をつなぐ育成会 本人部会活動サポーターマネージャー 吉井裕子)

# 第40回長崎県アビリンピック ～障害者技能競技大会～

7月8日(日) 県立長崎高等技術専門学校



競技種目は家具、ワードプロセッサ、喫茶サービス、ビルクリーニングの4種目が行われました。

家具とビルクリーニングは体育館や半屋外空間の暑い中で行われ、室内開催の喫茶サービスでも緊張のためか、選手たちは汗をかきながら、一生懸命に競技に取り組んでいました。

また、多くの保護者や事業所の職員、学校の先生方も、選手の競技する様子に、熱いまなざしを送って応援されていました。参加されたみなさん、お疲れさまでした。(長与町手をつなぐ育成会 会長 山口朝三)

## き 輝らっ人

アビリンピックに初出場した <sup>わかすぎ</sup>若杉 <sup>ゆうき</sup>侑紀さん  
時津町育成会

レストランのあるB型事業所・エリア21を利用中で、先日のアビリンピックでは喫茶サービス部門に自ら初挑戦した。支援員から出場の話聞いたお母さんは「えうちの子が？」と信じられなかったそう。

練習を重ねて臨んだ初めての競技会は、緊張して100%の力は出せなかったものの、彼にとっては大きな自信につながっているようだ。

「その後の仕事の取り組み方が全然違ってきたんです。以前はレストラン作業も月に1回くらいの体験という感じだったのに、今では弁当作業にも意欲的に取り組めるようになっていて」とお母さん。



余暇活動では苦手意識のあった水泳にも挑戦中。クロールと背泳ぎの習得をがんばるうち、苦痛だったシャワーも全く大丈夫になった。「時々水を飲んでしまうのは嫌だけど、練習を休みたいと思ったことはない」と頼もしい。

お笑いやカラオケも大好きで、プールではひょうきんなポーズで周囲を笑わせる一面も見せる、これからますます楽しみな21歳。



## 輝らっ人に登場してみませんか？

愛育ながさきでは「輝らっ人」の記事を募集中です。あなたの周りの「きらっ」と光る人・モノをご紹介ください。文と写真を県育成会までお送りください。(文・写真は返却不可)メールも可です。

〒852-8104 長崎市茂里町3-24 長崎県総合福祉センター県棟4F 408号

E-mail: info@ikusei-nagasaki.jp

# 第58回 九州地区手をつなぐ育成会 北九州大会

～障害のある人たちの人権と権利を擁護し、共生社会の実現を目指そう～

8月25日(土)ウエルとぼた

長崎県からは147名参加しました。北九州市育成会は本人活動が目覚ましく、本人分科会は、「知る見るプログラム」の成果がいかに発揮され、本人の進行でスムーズに運営されていたのが印象的でした。それぞれの分科会に参加された方、発表された方々に感想をいただきました。



## 第1分科会「日中活動」

「放課後等デイサービスの現状と課題」については、利用者に寄り添った事業所運営のようすを紹介していただく一方で、そうでない事業所についての話題になりました。「アート創作活動の取り組み」については障害者のアートを製品化する取り組みなどをご紹介いただきました。「高齢化への対応」は、スライドとパソコンの相性が悪く、調整に時間が掛かった事が残念でした。(県育成会事務局 野澤)

## 第2分科会「就労」

今回私は、第2分科会で公的機関、民間企業における雇用について発表する機会をいただきました。

長崎市手をつなぐ育成会の就労支援システムの紹介と職場適応援助者(ジョブコーチ)の取り組み、定着支援の取り組みなどを紹介し、支援を通じて思う事や課題点を伝えました。会場のみなさまからも活発な意見や質問をいただき貴重な意見交換ができました。

その他、農福連携の可能性、工賃向上の工夫、障がいの重い人の働き方など幅広い内容で、とても勉強になりました。

今後も自分の意志でやってみたいことに挑戦できるように、ご本人のニーズをくみ取り、ひとつひとつの支援を大事にしていきたいと思えます。発表資料を作成する中で自分自身の支援を振り返る事ができ、いいきっかけをいただきました。本当にありがとうございました。(さんらいず支援員 佐藤 実)

## 第3分科会「権利擁護運動」

「親なきあとに備える」は鹿児島県育成会が取り組む法人後見事業の立ち上げについての報告でした。きょうだいを主に若手中心のプロジェクトチームで活動し、バックアップ体制や運営面での課題は残しているが、法人後見という制度を使った家族支援で、この6月に事業の立ち上げを目指しています。

「育成会としての取り組み」では福岡県育成会の現状や課題、今後の展望に対する発表でした。

「差別解消条例と市民啓発の取り組み」は福岡市育成会の条例をつくる会の5年間の活動の経過報告でした。来年1月に条例の施行が予定されていますが、「条例ができたからと言って差別は無くならない。私たちは道具を手に入れただけ、道具をどのように使い、どう生かしていくかを考えていく」という言葉が印象的でした。(コロニー雲仙連合育成会 岸部 誠)

## 第4分科会「本人部会」～自分らしく自由に決めたこと～

私は、長崎県代表として、仕事・本人部会について発表して、参加されたみなさんから「発表はとても良かった」と言ってもらえた時はとても嬉しかったです。

他県の発表者の方では、車イスで、一人で電車に乗って出かけた事が自信になって、これからもチャレンジしていきたいと考えた人や、車の免許を取ったけど自分が好きな車を今は買うことができないが、自分が決めたから絶対に買うという目標ができたなど、自分でしっかり考えて発言していました。つらい時、みなさんに話すことで自分らしく生きていきたいと思えました。他のみなさんの話を聞いて良かったです。

本人発表終了後、自分の中の「挑戦したい気持ち」を見つけていく、みんなで知る見るプログラムチャレンジワークをしました。グループの話をまとめるのが大変でしたが、みんなの前で発表するとき一つになることができ、あらためて知る見るプログラムの楽しさがわかりました。充実した九州大会でした。(島原市手をつなぐ育成会 チューリップの会 会長 吉田光一)

# いきいきと暮らす ～本人部会活動を紹介します～

## 諫早市 なかま会

私たちなかま会は、平成23年から活動しています。  
毎月第1日曜日10時から小船越町ライフステーション  
で定例会を行っています。

島原市育成会本人部会とのボウリング交流会は毎年  
楽しみに参加させていただいています。

県育成会、長崎市育成会の「知る見るプログラム」研  
修会に参加してから、自分のことや意見を言えなかった  
本人さん達が、発表する場があると「私が出ます」と積極  
的になりました。

本人さん達は長崎きずな、育成会九州大会に参加し  
て、いろいろな方と交流を重ねて発表する事ができ、今  
後の活動が楽しみです。

バスハイクやボウリング大会など、余暇活動も自分たちで計画を立てて実施しています。

年末には地域の清掃活動も行っています。

今年は自分たち独自の広報誌を作りたいと意欲を見せています。



ライフステーションでの話し合い

### 《昨年度の年間行事や活動をご紹介します》

- 6月25日、9月10日、12月3日、2月25日 長崎きずな出席
- 6月3日 諫早市手をつなぐ育成会定期総会
- 6月17日 長崎県手をつなぐ育成会定期総会
- 6月25日 島原育成会ボウリング大会参加
- 10月7日 諫早市手をつなぐ育成会創立50周年記念大会
- 11月5日 本人部会バスハイク(平戸方面)
- 1月7日 諫早市手をつなぐ育成会新成人祝賀会
- 1月14日 本人部会新年会
- 3月18日 知る見る研修会(ハートセンター)



現在11人の部員(本人さん)と支援員2人  
で活動しています。

支援員はこれからの成長を見守りたいと  
思います。

(本人部会支援者 山田 幸)

←メンバーで計画・実施したボウリング大会

# 知的障害者相談員研修会

## 福岡市手をつなぐ応援隊による知的障害者の疑似体験



- ・描いてみよう…「りんご」は描けても「ちよつと」を描くのは…  
→抽象的な言葉の伝えづらさ
  - ・覗いてみよう…シングルフォーカスって？→  
全体を見ながら何かに注目することの難しさ
  - ・伝えてみよう…言葉が通じない／言葉だけで説明する  
→言葉に頼り過ぎの日常
- といった、本人さんたちの疑似体験を通じ、参加者は笑ったりうなずいたり、考えさせられたりとの研修でした。

～～～ 相談員研修に参加して ～～～

### 県南地区：7月13日(金)諫早市

数年前、福岡市育成会が招かれた、兵庫県たつの市のキャラバン隊「ピース&ぴーす」の活動を体験させていただき、知的障害を疑似体験するという視点とその内容に衝撃を受けました。その頃から福岡市育成会保護者会ではキャラバン隊活動の準備をされていたのだと思いますが、内容も地元福岡を意識したものにアレンジされ、とても楽しくあつという間に研修は終了しました。地域や学校など数多くの場所で披露されているということもあり、自分の体験も交えて話される内容も話術も素晴らしかったです。今回、長崎市でキャラバン隊「長崎よかよか隊」を立ち上げた直後だったこともあり、とても勉強になりました。「手をつなぐ応援隊」「ピース&ぴーす」に加え、広島県のキャラバン隊「あび隊」も見せていただきました。疑似体験の部分は共通するものがありますが、話す人が違くとそれぞれの話術に引き付けられ、みなさんの障害理解を広めたいという思いの熱を感じることができました。(長崎市育成会 吉井裕子)

### 県北地区：7月20日(金)佐世保市

知的障がい者の疑似体験をさせていただき正直「目からうろこ」で、親として良い意味でかなりのショックを受けました。また、もっと早く知ることが出来ていたらなあ…と残念な思いもありました。障がいをもって生まれてきた子どもが、こんな風に窮屈な日々を過ごしているんだと、ほんの少しだけでも理解できた事が、今さらですが親にとって良かったと思います。この先、子どもに接していく上での大きなヒントをいただき前向きな気持ちになりました。今まで以上に良き理解者として接していきたいものです。

今回、参加されなかった親御さんに、一人でも多くの方々に、疑似体験の話を伝えたいと思います。

福岡市育成会保護者会「手をつなぐ応援隊」のみなさまの啓発活動のパワーと素晴らしい講話に、2時間はあつという間でした。同じ障がいを持つ人の親として、敬服し感謝申し上げます。酷暑の中、みなさま本当にお疲れ様でした。(佐世保市手をつなぐ育成会 岡村サヨ子)

## 知的障害児者・自閉症児者のための 生活サポート総合補償制度

(年間掛金) Aプラン：17,000円、Bプラン：23,000円

入院給付金 個人賠償責任保険金 葬祭費用保険金

死亡・後遺障害・入院・通院・手術の各保険金

既往症、てんかん発作など知的障害児者・自閉症児者の方が抱える様々なリスクを補償するために開発された制度です。

パンフレットのご用命は下記事務局または担当代理店へお問い合わせください。



(事務局) ながさき知的障害児者生活サポート協会

TEL：095-893-5503 FAX：095-814-1778

2016年4月より 新プラン誕生！！

新プラン(Bプラン)の主な特長は

★入院給付金 2日目から補償

★個人賠償 最高3億円まで補償

★ケガの入院を日額5,000円、通院を3,000円補償

(担当代理店) ジェイアイシー九州

TEL：092-791-7561 FAX：092-791-7562

# 《 長崎県手をつなぐ育成会行事のお知らせ 》 12月まで

行 事	月 日	場 所	概 要
第18回 全国障害者スポーツ大会 (福井しあわせ元気大会)	10月13日(土) ～15日(月)	福井県各会場	13日10:00～開会式 その間 競技 15日15:40～閉会式
障害のある人の権利擁護・ 意思決定を支えるための 推進会議(諫早市・雲仙市)	10月20日(土)	諫早市健康福祉センター (駐車場約70台、敷地内 道路左側車線駐車可50 台)	13:00～13:20 開会行事 13:25～14:10 講話 「意思決定支援について」 長崎国際大学:高島恭子教授 14:15～14:40 事例発表 14:45～16:30 グループ討議など
本人部会「長崎きずな」	11月18日(日)	長崎県総合福祉センター	11:00～13:00 障害者施策に関する 意見を聞く会 要望について
長崎育成会フォーラム (役員研修会改め)	11月30日(金)	長崎県歯科医師会 (長崎市茂里町)	13:00～16:30 主な講演「キャラバン隊による 障害の理解啓発」を広めよう 講師:長崎市手をつなぐ育成会結 成キャラバン隊「長崎よかよか隊」
第19回障害者芸術祭	12月9日(日)	時津カナリーホール	13:00～ オープニング 15:00～16:00 第九合唱
無料法律相談	10月4日(木)	平戸市 北部公民館	13:00～14:00 大村さくら法律事務所 曾場尾雅宏弁護士 講話 14:00～14:30 質疑応答 14:30～ 個別相談
	11月21日(水)	対馬市豊玉福祉センター	
	12月13日(木)	東彼3町(会場調整中)	



「手をつなぐ」は、知的な障害のある当事者(本人・家族)に関しての教育・福祉・労働等々の諸施策を中心に、全国手をつなぐ育成会連合会が編集・発行している月刊誌です。文字どおり、全国の仲間が「手をつなぐ」ために役立つ情報誌です。 年間3,900円 B5版48ページ

長崎県手をつなぐ育成会までご連絡ください。

申込みは TEL 095-846-8730 FAX 095-846-8738 へ

**知的障がい・発達障がい  
ダウン症・てんかんの  
ある方のための保険**

病气やケガでの入院  
虐待・差別・逮捕に  
対応  
誤って物を壊してしまう…

最高日額1万円  
弁護士費用補償

個人賠償責任補償  
最高5億円

※(総合生活保険(個人賠償責任補償))  
引受保険会社:東京海上日動火災保険株式会社

**ぜんちの  
あんしん保険**

東京海上日動の  
個人賠償責任補償付  
少額短期健康総合保険(黒色知型)2016年創設

**ぜんちの  
こども傷害保険**

東京海上日動の  
個人賠償責任補償付  
権利損害補償付傷害保険(2016年創設)

日常生活でケガを  
することが多い…  
入院・通院を日額保障

トラブルに巻き込まれた際、  
誰も助けてくれない…  
弁護士がサポート

当事者同士での  
解決が難しい…  
示談交渉サービス付き

**ネット申込・年払・月払OK | クレジットカード払OK ※ネット申込みのみ**

※ご契約にあたっては必ず「ご契約に際しての重要事項」「約款」東京海上日動の「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合には、ぜんち共済株式会社までお問い合わせください。 詳しい資料のご請求・お問合せは下記までお気軽にどうぞ

<代理店>  
**有限会社 トータルサービス**  
TEL 095-832-2430  
〒850-0033 長崎市万才町6-35 三井生命長崎ビル5階

**ぜんち共済株式会社**  
ZENCHI 関東財務局長(少額短期保険)第14号  
〒101-0032 東京都千代田区岩本町三丁目5番8号岩本町シティプラザビル5F

コールセンター **0120-322-150**  
ぜんち共済 <http://www.z-kyosai.com/>

[2017年12月作成 17-T08668]